

令和2年度

事業報告書

令和2年4月～令和3年3月

学校法人 田中芸術学園

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

初代理事長 田中孝一郎、第2代理事長 田中雅子は、「堅実な学風、先進の技術」を建学の精神として掲げました。

美容技術は日進月歩で変化しており、また流行に影響される面がある一方、時代や空間にとらわれない、普遍の基礎技術、美学があります。

技術の鍛錬に加え、豊かな人間性を培うことで、美を創り出す潜在力を引き出し、付加価値の高いアーティストの育成に努めます。

(2) 教育の理念

堅実な学風・先進の技術を建学の精神として掲げ、「美を創り出す人にとって大切なことは何か」を自ら問うことを教育理念としています。

時代とともに変化する美容業界にあって、卒業後に充分対応できるよう美容師受験資格のほかにも多様な検定試験や資格試験などを設け、自身の付加価値を高めるなど、美容業界で活躍できる人材の育成をめざしています。

(3) 教育の基本方針

- ・普遍的な基礎技術の鍛錬
- ・豊かな人間性の育成
- ・新しい技術にチャレンジする向上心

(4) 沿革

・1925年(大正14年)

女流フォトグラファーであった田中雅子は、田中孝一郎の勧めにより、広く社会における女性の自立を求め、美容師に転身。東京・代々木駅前に「代々木美粧園」を開業。

その後、プロとしての花嫁着付け「雅流着付」を確立。以来、婚礼お支度のエキスパートとして認められ、現在のブライダルチェーンの基礎を作る。

・1945年(昭和20年)

田中孝一郎・雅子が「東京パーマ講習所」を設立。

・1947年(昭和22年)

東京パーマ講習所をさらに発展させ「東京美容専門学院」(東京都知事認可)として代々木に設立。

初代院長に田中孝一郎就任。美容師教育に本格的に邁進。田中雅子は美容室経営と業界活動に専心。

その後、アメリカよりアール・テーツ氏を招き、ピンカーリングとヘアセッティングの本格的講習を行い、田中八起(後の第3代理事長)が、全国に随伴。基礎技術の普及に努める。

・1949年(昭和24年)

厚生大臣(現厚生労働大臣)指定の美容師養成施設となる。

・1958年(昭和33年)

代々木駅前より現在の高田馬場に移転。

・1967年(昭和42年)

プロフェッショナル対象のコースとして、研究科設置。この頃、シザーズカットの隆盛を見越して、教員数名をアメリカ・ササーンスクールに派遣。いち早く授業にシザーズカットを取り入れる。同時に美容師養成施設の上級コースとして、専科(6ヶ月コース)を置く。

田中八起はICD(世界著名美容家協会)の日本初の世界大会実現に尽力。国内外の活動を通じて美容業界の国際化に寄与。

第2代理事長に田中雅子(初代)就任。

・1971年(昭和46年)

第3代理事長に田中八起就任。

・1980年(昭和55年)

第4代理事長に田中みさ子(二代目田中雅子)就任。

・1984年(昭和59年)

東京美容専門学院を「学校法人田中芸術学園東京美容専門学校」と改称。

美容師養成施設昼間部第1本科を美容専門課程に、夜間部第2本科を美容高等課程とする。

専科を一般課程専科ヘアスタイル科と改称。同時に研究科にメイク・フェイシャル・ネイル科を設置。その後6ヶ月コースに発展させる。

・1987年(昭和62年)

日本エステティシャン協会(現一般社団法人 日本エステティック協会)法人会員、認定校となる。

・1989年(平成元年)

研究科メイク・フェイシャル・ネイル科(6ヶ月コース)から、一般課程専科メイクアップコース(1年制)に。

・1990年(平成2年)

一般課程専科メイクアップコースを専科エステティックコースと改称。1年制のエステティック専門学科を置く。

・1998年(平成10年)

美容師法改正、新制度に変更。昼間課程2年制、通信課程3年制となる。

・2008年(平成20年)

日本エステティック協会創立 35 周年記念大会において 20 年以上永年登録法人会員(認定校)表彰を受ける。

・2015年(平成27年)

トータルビューティー科を2年制とし、美容総合科トータルビューティーコースに変更。

・2017年(平成29年)

創立 70 周年を迎える。

・2019年(令和元年)

校舎の改修、Wifi 環境の整備。
今日に至る。

(5) 理事・評議員の状況（令和3年5月1日現在）

理事 7名

監事 2名

評議員 15名

2. 設置する学校

東京美容専門学校

(1) 教員・職員の現況(令和3年5月1日現在)

校長	1名
専任教員	
・美容総合科ヘアスタイリストコース	9名
・美容総合科トータルビューティーコース	6名
・美容通信科	1名
職員	9名

(2) 学科と学生数(令和3年5月1日現在)

学科	入学定員	学生総数
美容総合科ヘアスタイリストコース	160	52
美容総合科トータルビューティーコース	80	68
美容通信科	240	46

少子化傾向を受け、ここ数年定員割れの状況が発生している。

また美容業界に対する若者の期待も希薄になり、美容業界ともども厳しい状況に直面している。

それに加え、従来東京への進学を希望する地方の学生が、新型コロナによる感染症を危惧し、地元にとどまる傾向が増えたことで、入学志願者が減少している。

新年度においては、新しい技術の教育に加え、目指す職業の多様性を考慮して選択授業を増やし、時代のニーズにかなう教育体系を策定している。

(3) 卒業生数

学科	卒業生数
美容総合科ヘアスタイリストコース	21
美容総合科トータルビューティーコース	16
エステティック科	5
美容通信科	20

(4) 国家試験合格者数 (令和3年3月31日)

美容師国家試験

学科	受験者数	合格者	合格率
美容総合科ヘアスタイリストコース	21	21	100%
美容総合科トータルビューティーコース	16	16	100%
美容通信科	20	17	85%

全員合格を目指し、国家試験対策を実施している。

今回は少人数であったことも関係し、昼間部の学生については100%

合格を達成した。

今後もこの状況を維持するために、万全の対策を図る。

(5) 各種検定合格者 (令和3年3月31日)

各種検定	合格者
日本ヘアケアマイスター検定	29
パーソナルカラー検定	29
ジェルネイル技能検定	16
メイクセラピー技能検定	16
サービス接客検定	31
みやび流着付け技能検定	31
上級認定エステティシャン検定	5
認定衛生管理者資格	5
アロマセラピー検定	5
リンパ・リフレ・ロミロミ検定	5

年々新しい検定試験が発表されてきている。学生の将来性を考慮し、

ホットな技術を授業に組みこみ、検定に挑戦するよう指導している。

しかし、昨年は新型コロナによる感染症の為、1つの検定試験が延期となり、

今年度に受験の予定となった。

(6)就職状況 (令和3年3月31日)

学科	卒業生数	美容業界に就職	その他
美容総合科ヘアスタイリストコース	21	21	0
美容総合科トータルビューティーコース	16	16	0
エステティック科	5	5	0
美容通信科	20	20	0

3. 財務概要

学校法人田中芸術学園 東京美容専門学校

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
教育活動収入計	249,410,266	165,419,211	150,800,416
教育活動支出計	259,546,024	224,804,556	231,053,864
教育活動収支差額	△ 10,135,758	△ 59,385,345	△80,253,448
教育活動外収入計	209,013	225,732	248,195
教育活動外支出計	99,153	71,429	46,000
教育活動外収支差額	109,860	154,303	202,195
経常収支差額	△ 10,025,898	△ 59,231,042	△80,051,253
特別収支差額	0	△ 1,472,021	△3,291,762
当年度収支差額	△ 10,025,898	△ 60,703,063	△83,343,015